

日 豫總會第一〇號

14

衆議院

於テハ、餘程ノ決心必好カヲ要シマス、又  
 シレニ對スル用意ヲ要シマス、殊ニ只今陸  
 軍

淨寫係

日 豫總會第一〇號

13

衆議院

比較ニテ又程ノ非常ニ相違ガアルト考ヘ  
 マス、此滿洲ノ政治的、經濟的ノ建設ヲ全  
 ウスル上ニ

淨寫係

月

日

豫總會 第一〇號

衆議院

16

御話デアリマシタガ、其通りデアルト思ヒ  
マス、此滿洲ノ關係ハ、國際關係ガ殆ド  
主ナ働キヲ

淨寫係



月

日

ヨソ 會 第一〇號

衆議院

15

大臣カラ御話モアリマシタガ、國際關係サヘ  
切抜ケルコトガ出來レバ、押通スコトガ出來  
レバト云フ

淨寫係



月 日

豫總會 第一〇號

兼 議 院

18

デアルト思フノデアリマス、最近國際聯盟  
 ガドウ云フ態度ヲ執テウト致シテ居ルカ、  
 其邊ニ付キマシテモ

淨寫儀

月

豫總會 第一〇號

兼 議 院

17

スルト思ヒマス、對支ノ關係、對露ノ關係  
 ハ勿論デアリマスガ、國際聯盟ノ關係ナド  
 ガ最モ重大

淨寫儀

月 日

豫總會 第一〇號

20

マ	シ	夕	新	國	家	ノ	承	認	ト	云	フ	コ	ト	ハ	、	滿	洲	經
營	ノ	上	カ	ラ	非	常	ナ	大	事	デ	ア	ル	ト	同	時	ニ	、	國
際	聯	盟	ニ	、														

兼 議 院

神 宮 係

月 日

豫總會 第 號

19

一	應	ノ	御	話	ヲ	願	ヒ	夕	イ	ト	思	フ	ノ	デ	ナ	リ	マ	ス
又	昨	日	本	議	場	ニ	於	キ	マ	シ	テ	松	岡	君	ガ	御	尋	致
致	シ	、																

兼 議 院

神 宮 係

月 日 予総會 第十 號

衆議院

22

マス、其邊ニ付キマシテ總理大臣ノ御説明  
ヲ願ヒ、尚ホ滿洲ニ於ケル四頭政治ト申シ  
マスルカ、

衆議院

月 日 予総會 第十 號

衆議院

21

對スル日本ノ決心且ツ國際關係ヲ突抜ケル  
ト云フ上ニ於テ、ドウシテモ必要ナ問題ト  
考ヘルノテアリ

衆議院

月 日

子孫會第十號

兼議院

付テ御説明ヲ願ヒタイ

○齊藤國務大臣 只今ノ御質問ニ御答致シ

マス、實ハ此事トニ付キマシテ、

24

淨寫係

松田

月 日

子孫會第十號

兼議院

色々ナ關係ガ分裂致シテ居ルノヲ統一スル

コトニ付テ、何カ御考ガアラセラルコト

存ジマス、其邊ニ

23

淨寫係

松田

月

日

豫總會第十號

衆議院

26日

コトヲ御答スルコトハ出来マセ~~ヌ~~、併ナカ  
ラ下度只今ノ御意見ノヤウニ自分モ考ヘテ  
居リマス、

衆議院

月

日

豫總會第十號

衆議院

25日

是ヨリ着手スベキ順序ニ考ヘテ居リマス事  
柄が多イノチアリマス、ソレ故ニ今此處ニ  
具體的ナ

衆議院

衆議院

月 日

豫算總會 第十號

衆議院

28  
日

ドウカ左様御承知ヲ願ヒマス

ソシカラ國際聯盟ノコトニ付キマシテハ

此九月ガ

衆議院

月 日

豫總會 第十號

衆議院

27  
日

ソレ故ニ是ハ暫時時間ヲ藉シテ戴イタラ

バ、御答辨出來ル時期ガ來ルト思ヒスカ

ラ、  
機

衆議院



月 日

豫總會第十號

衆議院

30

非常ナル心配ヲ致シ、又決心ヲ以テ臨ミツ  
、アリマス、御話ノ通りノ心持ヲ以テ進ミ  
ツ、アルノデアリマス

印寫係



月 日

豫總會第十號

衆議院

29

最モ大事ナ時期ト考ヘテ居リマスガ、此場  
合ニ處スルコトニ付キマシテハ、外務省ト  
致シマシテモ

印寫係



32

御即答ヲ御要求ハ致シマセヌ、如何ニモ事  
態ハ重大デアリマス、ドウカ只今御セラレ  
タ御言

衆議院

伊賀保

31

〇長島委員 只今ノ御説明、如何ニモ御尤  
ト存シマス、斯ウ云フ重大問題ニ付キマシ  
テ此席デ

衆議院

伊賀保

月

日

平徳會 第一〇號

兼 職 院

34

會ヲ御作りニナルヤウニ御願ヒ致シタイノ  
 デアリマス、又ソコマデ總テノコトヲ御運  
 ビ願ヒタイ

淨寫係



月

日

平徳會 第一〇號

兼 職 院

33

葉ノ通り、最近ノ機會ニ於テ、大方針ヲ決定  
 サレ、吾々が安心ノ出來ルヤウニ御説明ア  
 ル機

淨寫係





月 日 ヨソ

會 第 一 の 號

衆議院

38

ナ大決心 大覺悟ヲ持<sup>ス</sup>テ 滿蒙問題ニ當<sup>ラ</sup>テ  
 ケレバ ナラヌト云フコトハ明ニナツテ居ル  
 ト考ヘマス、

衆議院

月 日 ヨソ

會 第 一 の 號

衆議院

37

既ニ新國家が出来タカ<sup>ラ</sup>是ヲ宣イノ<sup>テ</sup>アル  
 ト<sup>言</sup>クテ、一段落ヲ告<sup>ゲ</sup>タヤウニ考ヘテハ  
 ケナイ、非常

衆議院

會 第 一 の 號

衆議院

問題ハ日本ノ運命ノ岐レル大問題デア  
 而モ今マデハ唯對滿關係デアリマシ  
 タガ、  
 是ガ轉ジラ

印寫係

會 第 一 の 號

衆議院

又私共ガ此舉國一致内閣ヲ助ケル  
 トキヲ意  
 味モ、餘程此邊ニアルノデアリ  
 マス、如何ニ  
 モ滿洲

印寫係

月

日

ヨソ會第十號

衆議院

42

が、更ニ進ンデ政治的ノ働キトナリ、或ハ  
 經濟的ノ働キトナルト云フ重大ナル時期ニ  
 際會シテノ

淨文庫

月

日

ヨソ會第十號

41

對支關係トナリ、對露關係トナリ、國際聯  
 盟ノ關係トナリ、又一方ニ於テハ滿洲ノ軍  
 事行動ノ

衆議院

月 日 ヲソ 會 第十 號

44

問題ヲ最モ有利ニ解決スルコトニ致シタイ  
ト希望スノデアリマス、其點ニ付キマシテ  
ハ、ドウ

月 日 ヲソ 會 第十 號

43

居ルノデアリマスカラ、此點ニ於テハ私共  
現内閣ヲ何處マデ御助ケシテ圖力ヲ舉ゲテ  
此



月 日

ヨソ會 第 〇 號

衆議院

46

ハ是デ達セラレタト考ヘマス

〇大口委員長 他ニナケレバ秘密會ハ是デ

開デ

御寫條

月 日

ヨソ會 第 十 號

衆議院

45

カ總理大臣ノ非常ニ御決心ヲ希望シテ以テ

ナイノデアリマス、私ノ秘密會ヲ要求致シ

マシタ目的

御寫條

月 日

ヨソ會 第 〇 號

衆議院

48

チデアレバ、此場合小川君ニ許シマス  
○小川委員 只今陸軍大臣ノ御説明ノ中ニ

月 日

ヨソ會 第 〇 號

衆議院

47

タイト思ヒマスガ……  
○小川委員 一寸關聯シテ……  
○大口委員長 關聯シ

印寫係

月  
日

ヨソ會 第 6 號

衆議院

50 頁

迷ヲイケレバナラヌ、斯ウ云フヤウナ御話  
 ガアリマシラ、ソレデ長島君が一寸申テ  
 豫算ハ宜イガト言

衆議院

月  
日

ヨソ會 第 6 號

衆議院

49 頁

滿洲ニ於ケル兵力が三萬五千ト云フコト  
 デアリマシラ、尚ホ騎兵、自動車、飛行機  
 ノヤウナモノヲ

衆議院



月 日

マ

會 第 十 號

衆議院

54

兵、或ハ自動車、飛行機ナドヲ送ツテ、是デ  
 購ツテ行ケルノデアルカ、更ニ參謀本部ノ  
 方デ何カノ

衆議院

月 日

マ

會 第 十 號

衆議院

53

位ノ兵隊ヲ滿洲ニ置クト云フコトデ、此豫  
 算ハ出來テ居ルノヤナイカト思ヒマスガ  
 ソレニ更ニ此騎

衆議院

月 日 豫算

會 第 一 〇 號

衆議院

56

シテ置キタイノデアリマス、尚ホ二月三日  
 ノ滿洲事件費ト云フモノガ、各ノ議會ニ於  
 テ多分要求サレ

衆議院

月 日 ヲ

會 第 一 號

衆議院

55

ヤルガウト云フコトデアリマシヤガ、此  
 春其點ヲハツキリシテ置カテカワタリデア  
 リマスガ、其點ヲハツキリ

衆議院

月

日 豫算

會 第 一 〇 號

兼 議 院

58<sup>日</sup>

三	月	=	今	日	マ	テ	豫	算	=	出	テ	居	リ	マ	ス	以	上	ノ
モ	ノ	カ	要	ル	ノ	カ	ヤ	ナ	イ	カ	、	此	豫	算	=	依	リ	マ
シ	テ	モ	、	月	/													

兼 議 院

月

日 豫算

會 第 一 〇 號

兼 議 院

57<sup>日</sup>

ル	コ	ト	ノ	思	フ	ノ	テ	ア	リ	マ	ス	カ	、	斯	ウ	云	フ	事
態	チ	ア	リ	マ	ス	ト	云	フ	ト	、	矢	張	冬	ノ	議	會	=	於
ヤ	マ	シ	テ	モ	、	來	年	ノ	二	月	/							

兼 議 院

月 日 豫

會 第 一 〇 號

衆議院

60

フノテアリマス、來年ノ二月三月モ今ノ時  
 局カラ考ヘマスト、露西亞ノ兵隊カ八、九  
 師團、十一個箇

衆議院

月 日 豫

會 第 一 〇 號

衆議院

59

平均シテ見マスト、千四百七十万圓、全ク  
 千五百万圓位ノ金ガ要ルヤウナ豫算ニナツ  
 テ居ルト思

衆議院



月  
日  
ヨソ

會 第 十 號

兼 談 院

モノが、少クナルコトハナハシヤウニモ思ハレ  
 マスガ、其邊ニ付テノ御見込ハ如何ナモノ  
 デアリマセウカ、一ツ御

淨寫保

61

日  
ヨソ

會 第 十 號

兼 談 院

師團モ迫ツテ來テ居ルト云フ状態カラ考ヘ  
 マスト云フト、日本ノ滿洲ニ於ケル兵隊ト  
 云フ

淨寫保

月

日ヨソ

會第十號

衆議院

64

○荒木國務大臣 只今、兵力ノ、更ニ近ク増  
派サレル兵力ノ件デアリマスガ、是ハ豫算

ノ

淨寫係

月

日ヨソ

會第十號

衆議院

63

差支ナケレバ十分御説明願ヒタイト思ヒマ  
ス

淨寫係

月

66 日

日  
ヨソ

會 第 一 〇 號

衆議院

豫算ノ中ニ	含 <sup>有</sup> ル	サレテ	居リ	マス	ソレ	カラ
豫算ヲ	屢々	切リ	マシ	タコト	ハ	前途
兵關係ノ						是ハ用

衆議院

月

65 日

日  
ヨソ

會 第 十 號

衆議院

中ニ	計上	致シ	テ	居リ	マス	只今	申シ	マシ	タ
騎兵	並ニ	飛行	鐵道	ト云フ	ヤウ	ナモ	ノハ		
今回	提出	シ	タ						

衆議院

月  
日  
ヨソ

會 第 一 〇 號

兼 議 院

68 頁

明日モ分ラヌノデアリマスガ、只今ノ所ハ  
來年ノ一月迄ハ現在ノモノデアリ得ル  
デアラウト

淨寫保

月  
日

會 第 一 〇 號

兼 議 院

67 頁

方ノ判斷ニ屬シマスルガ、御承知ノヤウニ  
段々ニ變化ヲ致シテ參ル事態デアリマスノ  
デ、今日モ

淨寫保

月 日  
ヨソ

會 第 一 〇 號

衆議院

於  
付テ大ナル變化ナクンバ、此儘デ出來得ル  
限リ寧ロ内容ヲノ

70

月 日  
ヨソ

會 第 一 〇 號

衆議院

云フ見込ノ下ニ計算ヲシテ居リマス、一月  
以降ハ只今此處デ御答辯致シ兼ねマスルガ  
狀況ニ

69

淨寫係

淨寫係

月 日 豫總會 第一一號

考ヘテ居リマスガ、<sup>如何</sup>何<sup>ノ</sup>セン今ノヤウナ  
國際關係デアリマス為ニ、一月以

衆議院

月 日

豫總會 第一一號

寧日内容日充實サシテ形ヲ國際關係的ニモ  
好クモシテ行キタイト云フ風ニモ

衆議院

此

淨寫係

淨寫係

月 日

會 第 一 一 號

宗 院

4

色々判断モアラウト考ヘテ居リマス、先ヅ  
一月マテハ現在ノ儘デ押

淨寫係



月 日

會 第 一 一 號

宗 院

3

降ノ點ニ付テハ、此處デノ明言ハ致シ兼ネ  
テ居リマス、尚ホ統帥關係ノ方ノ

淨寫係







月 日

會 第 一 一 號

8

スカ

○ 荒木國務大臣、御意見ノ通りデアリマス

衆議院

神宮保

月 日

會 第 十 一 號

夕

日ノヤウニ平均千四五百萬圓ノ金ヲ要ルモ  
ノト考ヘテ宜シイデアリマ

衆議院

神宮保

ヨ

一一

9

ギ  
マ  
ス

○大口委員長

ソレデハ秘密會ハ是ニテ閉

〔午後零時一分

秘密會ヲ終ル〕

INTERNATIONAL PROSECUTION SECTION

Doc. No. 3305

24 October 1947

ANALYSIS OF DOCUMENTARY EVIDENCE

DESCRIPTION OF ATTACHED DOCUMENT

Title and Nature: Loose shorthand records, Secret Meeting of the Budget Committee in the 62nd Imperial Diet Session.

Date: 4 June 1932 Original (x) Copy ( ) Language: Japanese

Has it been translated? Yes ( ) No (x)

*Source*  
LOCATION OF ORIGINAL: Diet

*Location* *Doc. Division*  
PERSONS IMPLICATED: ARAKI, Sadao

CRIMES TO WHICH DOCUMENT APPLICABLE: Manchurian Aggression.

SUMMARY OF RELEVANT POINTS

Committee member HAGASHIMA praised War Minister ARAKI for the fact that the Army has made a wonderful achievement in a short time in Manchuria. He asked how peace and order, which are essential for the carrying out of industrial development, will be maintained and what the situation with Russia is like on this issue.

ARAKI replied that he would like to speed up the Army's actions in Manchuria, but that he is being restrained by Russian threats and by the League of Nations. His reply is as follows:

1. For the solution of Manchurian problem, I am desirous of sacrificing everything. The present number of troops in Manchuria is about 36,000 men which is inadequate for the maintenance of peace and order. Therefore, some cavalry units, motorized units, and air units are to be sent to help the KWANTUNG Army. We are doing our best but the relation with the League of Nations is delicate, so it is very difficult to do our utmost in Manchuria.

2. As for the situation toward USSR, she has been increasing her forces in the Far East since the Manchurian Incident. The present 4 divisions are being increased by 5 divisions which are now being sent from Central Siberia and European Russia.

Doc. No. 3305 - Page 2 - Summary Cont'd.

The Commander-in-Chief of the Army of the USSR in the Far East is the famous General Blucher, who once helped CHIANG-KAI-SHEK and who once said that war should be started against Japan. We must very carefully take a peaceful attitude toward USSR in the matter of Manchuria's boundaries.

ANALYST: FRED SUZUKAWA  
1st Lt.

Doc. No. 3305  
Page 2